



広報ひがしゆり

1990・7

No.424

童画「夕焼け雲」



近くの小川で雑魚すくいをしての帰り、ふと見ると、夕焼け雲が金魚や鮭魚に見えた、というイメージを、そのまま絵にしたもの。魚が空に浮かんでいたものでも、子どもが酔っぱらっていたわけでもない。りつぱな鮭をすくいたかったのに、という想いが、まつ赤な雲に結びついて、そう見えたまでのこと。

こんな手法の絵を「童画」という。

絵本の一場面ではない。絵の中にすでにお話が組みこまれているので、一枚で独立した価値をもつ。大正七年、雑誌「赤い鳥」誌上に生まれた「童話」「童謡」について、大正十三年、武井武雄という画家が、子どもの心の世界、子どもの心情に応える絵でなければならない、としていいだした名称である。今でさえそういう名称である。今でさえそういう

かつたらしい。展覧会に見えた観客が、「こどもにしてはうまいもんだ」と感心したという。児童画と勘ちがいしたのだ。シャレのうまかった武井先生が、微苦笑しながら、「こどものためのお話や歌を、童話、童謡」という、とドウヨウに」と、説明文でなければならぬ、としているための「お話や歌を、童話、童謡」という、とドウヨウに」と、説明文でなければならぬ、としている

長年児童図書の編集にたずさわり、のち創作活動にはいる。文・絵・実技指導と幅広く活躍。「チロヌップのきつね」など数多くが海外でも出版。

4
町出身・絵本作家

たいへんおまたせしました

「東由利勤労者野球場」オープン

町民待望の野球場が六月三十日にオープンしました。

雇用促進事業団の援助により、「勤労者体育施設建設事業」として昨年七月から建設していました。もので、総事業費約二億円のうち同事業団が約九千五百万円、残りを町が負担しました。

建設地は台山の旧町民グラウンドで、旧グラウンドを両翼を九十一メートル、中堅を百十四メートルに改修したほか、鉄筋コンクリート構造の管理棟、ダッグアウト、スコアボード、バックスクリーンなどを新設、公式戦にも対応できる球場にしたもののです。

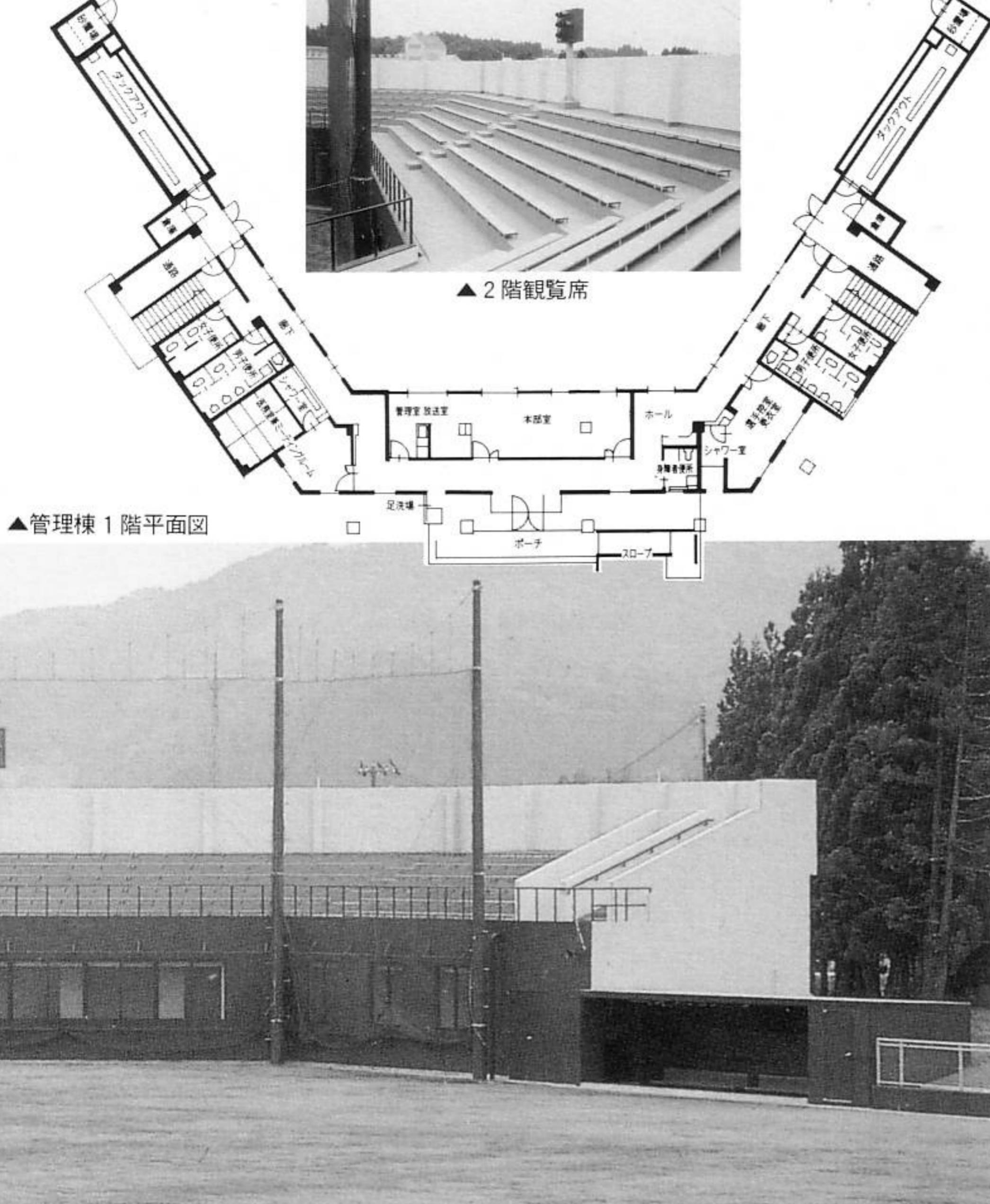
同球場の正式名称は「東由利

勤労者野球場」で、今後勤労青少年の体力づくり、中・高年勤労者の健康増進、コミュニティの場として充分に活用されることが望れます。

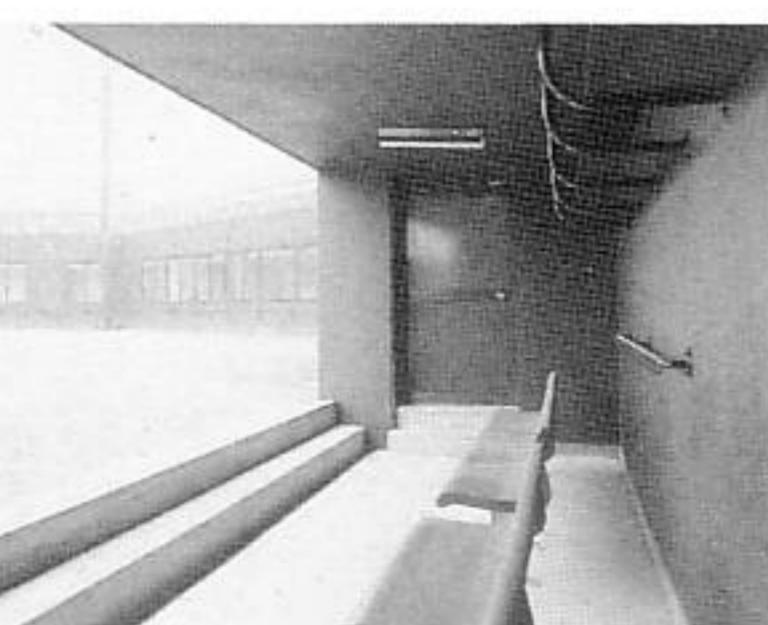
「ふるさと創生事業」で駐車場とトイレも完成

野球場そばに、「ふるさと創生事業」で昨年から建設していた駐車場とトイレがこのほど完成、野球場利用者に便宜が図られることがあります。

また、町単独事業で野球場への連絡道路を整備していますが、年内に完成する予定です。



▲本部室



▲ダッグアウト

●利用者からひとこと●



蔵新田・阿部重雄さん

社会人野球大会が開かれ今年で三十二年目。この間どれだけ多くの若人が野球場建設を望み続けてきただろう。その意味からも、待ちに待つた球場のオープンであり、心からお慶びを申し上げたい。

こうした球場は、ややもすると郊外に位置する場合が多いが、本

球場は町の中心地域にあり、しかも中学校、高校をはじめ、文教施設が軒並みに隣接する。

待望の野球場がやっとオープンし、利用者の一人として本当にうれしく思います。

わが町にはもつたないような、立派な球場ですが、『宝の持ち腐れ』にならないよう、シーズン中はフルに活用したいものです。そのためには、やはりナイター設備

が必要だと思います。すでに計画されているようにも聞いています

積極的な運営で 利用される球場に



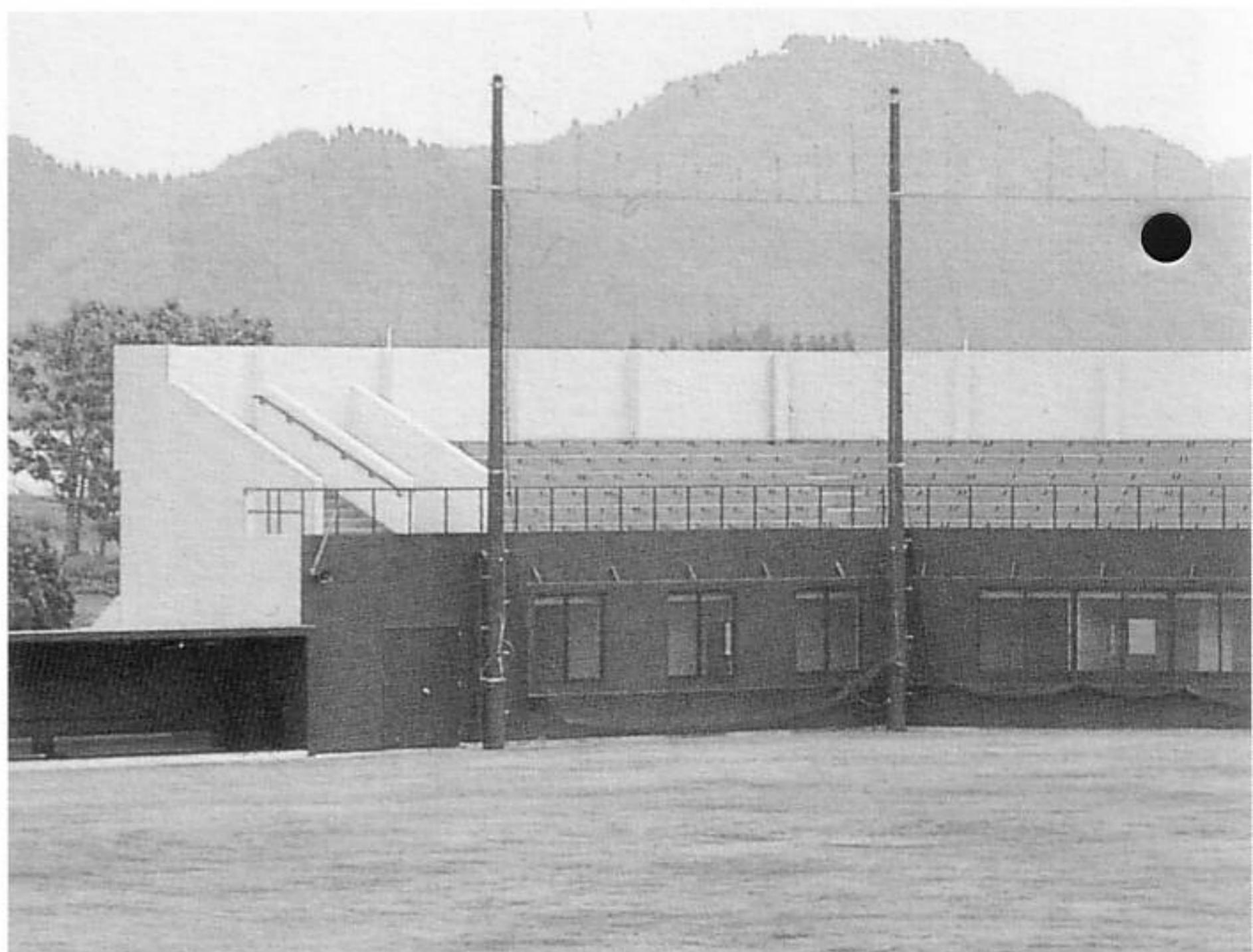
新町・長沼利文さん

シーズン中はフル活用を ナイトも急いで

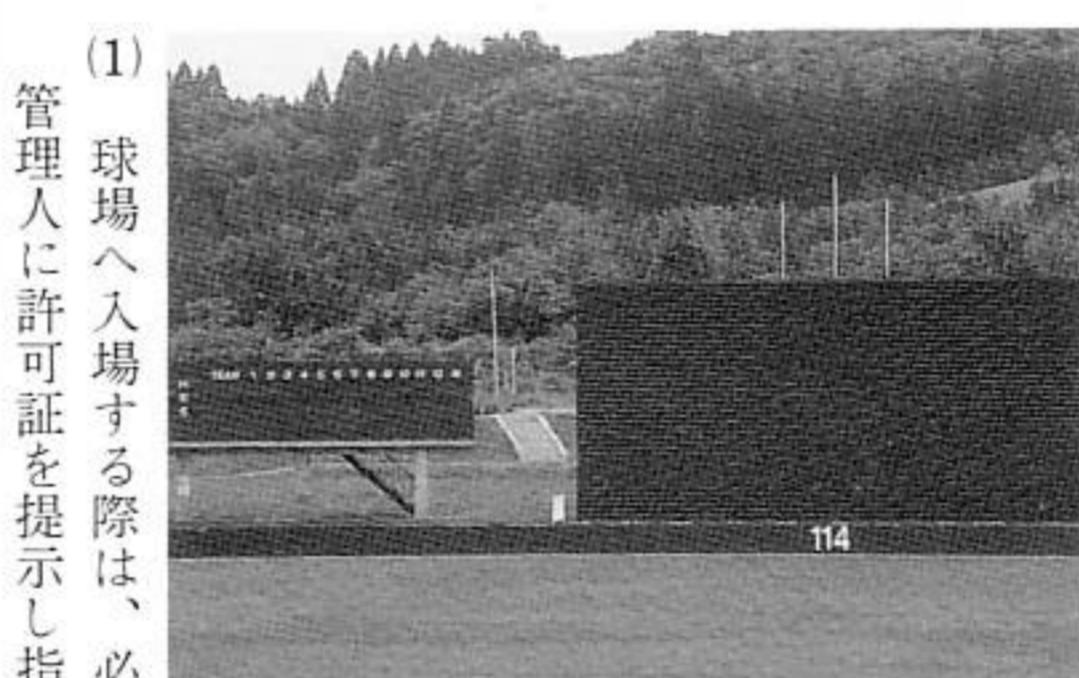
●野球場および付属施設設備の使用料

区	分	町内団体	町内と町外団体	町外団体
野球場等 使 用 料 (2時間当たり)	雇用保険の被保険者	500	700	1,000
	タ 以外の者	600	900	1,200
	高 校 生 以 下	300	400	500
付 属 施 設 機 器 使用 料 (2時間当たり)	スコアボード 放送設備	雇用保険被保険者	200	300
	タ 以外の者	300	400	500
	高 校 生 以 下	100	200	300
備 考	シ ャ ワ ラ 1 使用	雇用保険の被保険者	500	700
	タ 以外の者	600	900	1,200
	高 校 生 以 下	300	400	500

備考
1. 使用時間は、2時間に満たない場合は2時間とする。
2. 「シャワー1使用」とは、球場の使用許可時間内の使用とする。



使用方法 使用場の注意



(1) 球場へ入場する際は、必ず管理人に許可証を提示し指示

バックスクリーンとスコアボード(左)

- (2) スコアボード、カウントシグナル、備品等の使用は、係員の指示に基づき使用者が責任をもって行ってください。
- (3) 球場使用後は、トンボ、レーキによるグラウンド整備と、使用した部屋及びダッガーアウトの清掃を確實に行ってください。
- (4) 退場の際は、必ず管理人に報告し確認を受けてください。お問い合わせは、東由利町教育委員会 069-2310番まで。

を受けてください。

- (1) 使用する二日前までに町教育委員会で所定の使用許可申請書により手続きをとつてください。
- (2) 使用料は許可書交付と同時に納めていただきます。

議会定例会 町政報告

六月定例町議会が六月十二日から二日間の会期で開かれ、町長の行政報告と一般質問のほか、平成二年度一般会計補正予算案などを六議案を可決して閉会しました。

以下、町長の行政報告、一般質問（六面）、主な議案（七面）について概要をお知らせします。



良質米生産技術指導員を中心とした指導を強化していきます。

過疎対策事業を積極的に推進

新しい過疎法として「過疎地域活性化特別措置法」が三月末に成立し、今後十年間の年限立法として四月一日から施行されたことは、過疎地域の地方自治体として喜ばしい限りです。

新・旧法とも、法律による対策の中心は共通しており、人口流出に伴う財政力の減退による、過疎地域の公共施設の立ち遅れを取り戻すことがあります。この立法の趣旨により、目下、今後の町の過疎振興活性化計画の策定を急いでいます。

法律に基づいての過疎対策事業については、財源としては過疎債の発行が認められており、公共事業、単独事業についての地方負担について、一定の条件

のもとに財源充当がなされ、その元利償還金の七〇%を毎年地方交付税に算入して交付されることになります。

本町は、過疎市町村として指定を受けた県内三十五市町村のうちに入りましたので、仕事を進める上で財源措置の中心をなすもので、頼みの綱であり、これから町づくりに、新規立法を効果的に活用して過疎対策事業を積極的に推進していきます。

今年の転作目標面積は二百五十一・三㌶で、割り当て通りに稻の作付けが終わりました。

本年も良質米生産に力を入れて指導を行った結果、これまでの調査で「あきたこまち」四四九㌶（四八七㌶）、「ササニシキ」四四五㌶（四七・六㌶）、合わ

情勢の中につけて新しい農業時代へのチャレンジを試みているところですが、本年は来るべき二十一世紀に向けての「東由利農業振興大綱」を策定し、町民こそつてこれを実践しようとの試みを計画中です。

良質米作付95%超す

水田農業確立対策はいよいよ後期対策に入り、生産者団体である農協が中心となり、これに行政が協力するという形で行われることになりました。行政としては全面的な協力により、特に転作面積と稻の作付けなど従来通り農家の理解を得ながら予定通り進めているところです。

今年の転作目標面積は二百五十一・三㌶で、割り当て通りに稻の作付けが終わりました。

本年も良質米生産に力を入れて指導を行った結果、これまでの調査で「あきたこまち」四四九㌶（四八七㌶）、「ササニシキ」四四五㌶（四七・六㌶）、合わ



子牛は依然として高値で取り引きされています。

稻作の技術指導を強化

本年は水不足が心配されましたが、農作業は順調に進みました。田植は平年より若干早めに終わり、田植後の稻の成長も良好で、本年も「良質米生産技術指導員」を中心に稻作生産技術の指導を強化していきます。

本町においては、厳しい農業

子牛市場は依然高値安定

航空防除は農協中心で実施

子牛市場は四月八十八頭、五月百十二頭、六月七十六頭の上場で、売り上げ価格は一頭平均四月四十一万七千円、五月四十五万四千円、六月四十一万四千円でした。本年度は若干の値下り傾向はあるものの、依然として高値安定で取り引きされており、畜産農家にとって喜ばしい結果となっています。

葉たばこの耕作面積は三十一・四㌶で、耕作農家の減少により前年度より若干減少しました。しかし過去の実績により増反も認められることになり、葉たばこ耕作農家の励みとなっていることは喜びに耐えません。

航空防除は、本年度から農協が中心となって実施されることとなりました。航空防除会長に農協組合長が就任し、新しい一斉防除体制で実施されることになっています。実施にあたっては町当局も全面協力することにしています。

大琴バイパス

八月八日に開通式



8月8日に開通式を行う大琴バイパス

国道一〇七号線・宿工区は昨

年暮れに供用を開始し、現在その延長線上の大琴バイパス工事を急いでいます。七月末までには舗装工事を終えるメドとなつたので、八月八日の大安吉日に開通式を行うことにしました。

なお、奥ヶ沢工区の二号トンネル工事に着手するための、取付け道路工事が目下順調に進められています。

県代行事業の須郷田・跡見坂線に六千五百万円、農免農道整備事業の鳥台線開設工事に二千万円の暫定予算が決り、工事発注準備に入っています。

このほか団体営農道整備事業で、坪倉線に千九百万円、深山線第二期分に二千三百八十二万円、鞍骨線に四千八百万円、杉森線に千六百万円、若林線に千七百万円の内示を受け、それぞれ発注準備を急いでいます。

「八塩一号線」を整備

二十五年連続完納

林道では、土場沢線を「林業地域総合整備事業」で改良することになり、現在説明会を開くなど準備を進めており、七月中には発注される見込みです。

また同事業により、八塩ダム上流部から八塩山不動滝登山口方向に向かう路線、八塩一号線が、六月中に事業費が決る見込みで、現在調査を進め準備中です。

「玉米会館」八月完成メド

館合地区多目的共同利用施設（名称「玉米会館」に決定）の建築工事は順調で、現在外構工事に入っています。工事の進捗率は八〇%で八月末の完成をメドとしています。

火葬場の新築工事は、現在外構工事を急いでおり、六月中に完工する予定です。七月十七日の大安の日に、火入れ式と竣工式を行うことにして、準備を急いでいます。なお、施設の名称は

選考を重ねた結果「東由利斎場・やすらぎ苑」とすることになりました。

このほか団体営農道整備事業の大安の日に、火入れ式と竣工式を行なうことにして、準備を急いでいます。なほ、施設の名称は選考を重ねた結果「東由利斎場・やすらぎ苑」とすることになりました。

町税・国保税が

平成元年度の一般町税及び国民健康保険税が完納となり、昭和四十年以来通算二十五年連続完納となりました。

これは全県下最長記録の更新であり、更に延長を期したいと存じます。これもひとえに全町民の納税に対するご理解とご協力のたまものであり、心から感謝を申し上げる次第です。

以上をもつて行政報告を終わ



8月末に完成予定の「玉米会館」

議会定例会

一般質問

一般質問では三氏が町長の考え方をただしました。

概要是次のとおりです。



6月定例町議会議場

(6/12)

問 嫁不足解消への積極的な対応策として、中南米の二世、三世を町長身元引受人で研修生として受け入れ、町内青年と交流させる考えはないか。

答 これまでのフィリピン女性との結婚問題のように、幾多の問題があるように思いますが、親や祖父母が日本人、日本に親せきや知人友人がいるなどの点で、一考に値するユニークな提言と考えます。

町内に研修生として受け入れる企業があるか、これに応ずる中南米の国があるかなどという問題もあり、現実にはかなり難しい問題に直面するよう思いました。ただ、そのような機会をとらえ結婚に結び付けようというアイデアはユニークです。

中南米から受け入れる前に、日本女性、なかんずく町の娘さん方を多く町の企業などに残すことが先決と考え、企業誘致など全力を尽くしているところです。

この問題はひとり本町だけの問題ではなく、全県的な行政課

問 古道は可能な限り保存整備すべきと考えるが。

答 全く同感です。歴史的に意義のある古道の保護・保存は、地域文化の歴史を後世に残す観点からも大事な行政責任と考えます。この認識にたち、これまで努力してきましたが、今後も出来る限りの努力をしていきます。

問 農業問題、特に米価について

答 米価の問題は、農家の生活にかかる大事で真剣な問題です。

本県の稲作は、農業粗生産額の約六割を占める基幹作目です。全国第三位の米生産県である本県にとつては、米価の問題は今まで大変大事な問題です。

稻作農家が安心して米づくりにいそしめる政策の確立と、米価の安定のための運動を、生産者とともに強力に展開していくかなければなりません。

そのような森林組合の育成指

導に一層努力していく考えです。

題であり、日本全体の農村問題としてとらえなければならぬ問題ですので、各町村と歩調を合わせて、強力に政府に呼び掛けていきたいと考えます。ひ

とつは、「平成二年産米の政府買い入れ価格等に関する陳情書」、いまひとつは「わが国農業・農村の将来展望と米穀政策の確立に関する陳情書」で、この陳情書を体して行政の立場からも国に対しても強く反映していきたいと考えます。

全国統一献血運動 本町でセレモニー

— 県商工会連合会 —

商工会法施行三十周年を記念し「全国統一献血運動」を開催している県商工会連合会が、運動初日の六月一日、オーブニングセレモニーを本町役場前で行いました。

この日式典には県商工会連合会、町商工会婦人部、青年部のメンバーなど百五十人余りが出席し、畠山町長ら五人がテープカットをした後、永慶・みどり両保育園児七十人が、約二百個の風船を放ち式典に花を添えました。

この運動は十月まで行われ、期間中は献血目標六千七百人が達成を目指します。町民の皆さんのご協力をお願いします。



町役場前で行われた献血運動オープニングセレモニー

可決された主な議案

館合地区多目的共同利用施設の名称を「玉米会館」に決定

田ノ沢団地と強清水団地に融雪災害が起き、復旧工事を行うこととした。

▽地籍調査費 五百九十六万円
▽林道新設改良費 二千六百六
十二万六千円（矢走線舗装、
八塩一号線改良工事費）

地区名	工種	数量
強清水	水路	一一七
水路	水路	一四
		トメル

一億五千万円余を追加

火葬場の名称を
「やすらぎ苑」に決定

老朽化などに伴い、横渡地内（藏字館ノ内一番地の一）に新築中の火葬場の名称を、東由利斎場「やすらぎ苑」と決めた。

融雪災害の復旧工事を実施

平成二年度一般会計予算に
億五千二百九十万一千円を追加
同予算の総額が二十九億七千六
百十六万二千円となつた。

主な内訳は

▽地域振興基金積立金 二百九
十四万四千円

▽簡易水道特別会計へ繰り出し
 二八百四十四万九千円（水道

△橋梁維持費＝一百六十三万七千円（山谷橋、島宮橋の調査設計費）

△消防施設費＝一百六十万円
（防火水槽新設工事）

△農業用施設災害復旧費＝一千五百八十七万二千円

故・伊東庄一郎氏が勲八等瑞宝章を受章



故・伊東庄一郎氏

前町議の故・伊東庄一郎氏（蔵新田）の、生前の功績に対する勲六等瑞宝章が贈られました。故・伊東氏は、昭和四十六年から二期六年間、同五十五年から三年間、町農業委員を歴任し、農業経営の安定と充実のため活躍なされました。

町議会議員選挙に出馬し当選、本年四月六日に死去されるまでの十三年八ヶ月間にわたつて在職し、その間総務財政副委員長、同委員長を歴任、議会の融和と円滑な運営に尽くされました。また、同六十三年からは議会選出の監査委員を担い、町政の發展に貢献されました。

畜産振興にと佐藤さん 町に 現金50万円 寄付



佐藤鉄之助さん

ました

ありがとうございます

「東由利在住の佐藤鉄之助さん（八二歳）町の畜産振興に役立ててください」　佐藤さんは昭和四十四年「八郎潟干拓地」に入植、以来農業経営は順調に進み、現在は長田の晃之助さんらにすべてをまかで大潟村にから、町に現金五十万円が届けられました。

献血ありがとう

行われた六月一日献血車が来
町、町内四カ所で次の方々が
献血をされました。（敬称略）

カメラトピックス

今月の出来事

高瀬会が創立20周年

本荘市在住の町出身者のグループ「高瀬会」が創立20周年を迎えました。これを記念し同会が6月3日町内めぐりを実施したところ、40人の会員が参加。町をひと回りし、整備された道路や施設に感慨を深くしていました。このあと有鄰館で懇親会を開き、ふるさと談議に花を咲かせました。

▶町内めぐりを終え有鄰館前で記念撮影



西山にオープンした県内初のポケットバイクサーキット場



西山に「ポケバイ」サーキット場誕生

ポケットバイクのサーキット場が、県内で初めて西山に誕生し、土・日に町内外の大勢の人出でにぎわっています。ポケットバイクは全長1㍍ほどの小さなオートバイで、小さな子どもを対象に、交通ルールとスポーツ感覚を体験するのに最適といわれています。関東方面ではすでに爆発的な人気を呼んでおり、オーナーの小野智さん（藏新田）は「装備するので安全。親子でぜひ利用してほしい」と話しています。

放課後に開かれた参画者と教師との懇談会

東中が学校を開放

東由利中学校で、町民とふれ合う開かれた学校教育を目指し「学校開放の日」を設定、初めての開放日の6月18日大勢の町民が学校を訪れ、授業や給食、生徒集会などを見学しました。また放課後参画者と教師の懇談会も開かれ、活発な意見交換が行われました。今度は2学期に開放日が設けられることになっています。



NTT本荘支店では七月三日から「とっぴんからりん、むがしつこ」と題し、本荘市由利郡内の昔話をテレホンサービスで紹介することにしています。この中で、本町の昔話三本も紹介され、その朗読で八塩・高瀬・大琴小学校の児童がそれぞれ登場することになります。関心のある方は、ぜひ利用されてみてはいかがでしょうか。

テレホンサービスで 郡内の民話を紹介

7月3日～	9日	由利郡	三つのなぞなぞ	金浦小学校
7月10日～	16日	象潟町	せやみのじいさん	上郷小学校
7月17日～	23日	由利町	雨降って地かたまる	前郷小学校
7月24日～	30日	東由利町	布ざらし	八塩小学校
7月31日～8月6日		象潟町	きつねとチョツネ	上浜小学校
8月7日～8月13日		由利町	きつねに化かされた和尚さん	鮎川小学校
8月14日～8月20日		東由利町	朴の木清水の捨て子	高瀬小学校
8月21日～8月27日		象潟町	しっぺい太郎	象潟小学校
8月28日～9月3日		由利町	源内もち	西滝沢小学校
9月4日～9月10日		東由利町	カッパのくれた刀	大琴小学校

「さなぶり運動会」各地で開催

田植え後の行事として定着している、「さなぶり運動会」が今年も各地区で開かれました。今年は6月3日の日曜日に大琴、田代、館合新田で、10日には蔵地区でぎやかに行われました。蔵地区では第6回目の開催を数え、一段と盛り上がりを見せました。

▼一段と盛り上がりを見せた蔵地区の「さなぶり運動会」
(写真は蔵分館提供)



八塩小に大凧プレゼント

八塩小学校に蔵新田出身で元教員の伊東実さん(本荘市在住)から、畳2枚分もある大凧をはじめ大小20枚の大凧が寄贈されました。絵は武者絵が多く、学校では大空に舞う凧のように雄々しく、たくましく育つことを願って、みんなが毎日集まる食堂にかけました。



▲八塩小に寄贈された畳2枚分もある武者絵の大凧

高校野球ファンの皆さんへ

全国高校野球選手権秋田大会の全試合の途中経過と結果が、
☎ 22-8600番で聞けます。

時 間 7月19日～27日
9時～20時(平日)
9時～17時(土・日)

町長隨想

毎年六月には敬老会が行われる。長寿社会の到来により、この季節になると高齢者福祉行政についてその責任の重さを痛感させられる。

高齢者比率が過疎地域を中心に年々高まり、全国の過疎地域平均が二〇%に近づくと報ぜられており、県内でもすでに二〇%を超えている町村がある。若者の流出は特に農村部に多く、過疎化対策と合わせて、高齢化対策が緊急な行政課題となっている。

わが町においても、新しく出来

“高齢者福祉行政”で考えさせられる」と

要がある。大変責任の重い時代となつた。

— 高齢者の活動がゲートボーリだけというのは情けない —

いう声を耳にする。高齢者が自由

時間を利用し、孤独に陥る

ことなく充実した生活を送れるか

わが町においても、新しく出来

た「過疎地域活性化特別措置法」を活かしながら、高齢化対策を組み入れた町づくりを急がなければならぬ。高齢化対策は、単に医療や狭い意味の福祉だけでなく、地域そのものの仕組みを、高齢者が住みやすいように変えていく必

どうかは、基本的に個人の心構えの問題である。だが、その条件を整備し、場を提供するのは自治体の役目であろう。——今までのまちづくりは、若者や働き盛りの人たちを基準にしてやってきたのではないか。——高齢化時

の実施、給食サービス等々、年々充実してきたが、更に高齢者住宅、愛のベル、福祉電話、高齢者生活活動センター、シルバー人材センター等々、新たな取り組みの課題も多い。地域にどんな高齢化対策が必要かは、高齢化の進み具合や

が基本でなければならないものと思う。

— ヨーロッパ研修で、福祉先進国イギリスの老人福祉施設「マントルコート」(ロンドン市)の運営で、そのことを再確認せられ(既報・広報ひがしゆり二月号)

— 更に、先日テレビ放映の中で、一人暮らし老人のアパート生活実

態——を見て、福祉の原点ともいべき：丈夫な人が弱い人を面倒みる：という相互扶助、隣保共助の大切さを再確認させられた。この基本を大切にしながら、行政責任を果していきたいと考える。

(町長・畠山亮一郎)

759人のお年寄りをご招待

三日間で三百八十二人のお年寄りが元気に出席した町敬老会（写真は六月二十二日・八塩小学校区）



90歳以上の長寿者は26人

平成2年度長寿祝い金贈呈者

（敬称略）

氏名	年令	自治会名
佐藤アキノ	98	五海保
梅津ヤス	96	大琴
畠山タキノ	95	藏
小野夏五郎	94	土場沢
遠藤ナヲ	93	上通
遠藤房吉	93	新処
小松マツノ	93	黒沢
石綿キヨシ	93	藏
佐藤トミ	92	藏
小松オツヨ	92	新町
伊東ヒテヨ	92	藏
佐々木ノエ	92	大琴
小野久兵衛	92	上里
阿部喜代藏	92	大琴
高橋キヲ	91	久保
畠山アキヨ	91	館合新田
佐藤マサノ	91	新処
小野秀治	91	下小屋
阿部ミサヲ	91	藏新田
大日向マツヨ	91	新町
佐藤トヨノ	90	下小屋
佐藤千代作	90	大吹川
阿部サタエ	90	十二ノ前
小松ヨスエ	90	下通
横山ヨマツ	90	智者鶴郷
武田繁政	90	須郷



佐藤アキノさん

町一番の長寿者は
男性が小野夏五郎さん（94歳）
女性が佐藤アキノさん（98歳）



小野夏五郎さん

ことしの招待者は、町人口の約一三〇にあたる七十歳以上の約三百八十二人が元気に出席しました。敬老式では畠山町長が、これまでのご労苦への感謝と励ましのあいさつをした後、九十歳以上のお年寄り七百五十九人で、このうち三百八十二人が元気に出席しました。

ことし金婚を迎えたご夫婦は八組で、式にはほとんどがお二人揃って出席、畠山町長が祝い金と記念品を贈りました。町一番の長寿者は、女性ではことし九月二十日で九十九歳になられる五海保の佐藤アキノさん、男性では八月十三日に九十五歳になられる土場沢の小野夏五郎さんです。お二人ともますますお元気で、町の長寿記録を伸ばしてください。

金婚おめでとうございます
（敬称略）

氏名	年令	自治会名
八嶋由利三 マサヨ	74 73	黒渕
佐藤茂美 フサ	75 68	時雨山
大坂良治郎 トミエ	77 75	下小路
小松長盛 ミツ	75 70	宇戸坂
小松榮男子 ミサト	75 73	宇戸坂
佐藤雄一 ハルヨ	75 71	中通
遠藤吉蔵 モトミ	74 70	新処
小島正雄 ミツコ	77 74	大琴

金婚案内者は8組

大好き！おじいちゃん おばあちゃん

ぼくは、小さいころに、たくさん、おじいさんのお世話になりました。

おじいさんは、囲碁が得意です。

しかし、ぼくが生れてからは、やるひまがなかつたでしよう。いつも外には出でに、ぼくのめんどうをみていました。ぼくは、すぐにあつちに行つたり、こつちに行つたりと、動いてばかりだったので、おじいさんも動いてばかりだったのでしようね。

そのために、おじいさんの囲碁のうでがおちてしまつたのでしよう。仕事だつて、たくさんあつてもできなかつただろうと思います。

ぼくが二歳くらいになると、おじいさんはぼくを仕事につれていくつてくれました。だけど、ぼくは、じつとしていなくて、十分に一回ぐらいは動き回つ

おじいさん ありがとう



八塩小6年・渡辺靖之くん

ていたそうです。今思うと、ほんとにじやまだつたと思います。ほとんど、いや、ぜんぜん仕事ができなかつたはずです。

ぼくが一年生になつたら、おじいさんはぼくに囲碁を教えてくれました。だけど、ぼくには、ぜんぜん意味がわかりませんでした。おじいさんは、ぼくに「ここに碁石をかけ」とか、親切に教えてくれました。また、おじいさんは、ぼくが宿題でこまつています。「こうやればかん單だよ」とアドバイスをしてくれました。

おじいさんは、いくら「ありがとう」と言つたとしても、言いたりないくらいです。

これからも体に気をつけ、仕事をがんばつてくれた

私のおじいちゃんは、よくゲートボールのれんしゅうのあとで、夜よっぱらつてくることが多いです。

そして、ふとんにねかせるのは私のやくめです。

おじいちゃんは、私がねかせたあと、「ありがとう」といつて、百円をくれます。でも、とつてもあついときは、アイスを買ってきます。だから百円はもらいません。

私のおばあちゃんは、とつてもやさしいです。おばあちゃんは足がいたくて、びょういんにときどきいっています。

足がいたいのに山にいったり、畠仕事をして毎日働いています。それに朝早く起きて、ごはんを作つたり、せんたくをしたり、とてもおばあちゃんは働きものなので、長生きしてもらいたいです。

私のおじいちゃん、 おばあちゃん



高瀬小4年・阿部 希さん

そしておじいちゃんにも長生きしてもらいたいです。

でも、おじいちゃんとおばあちゃんが、けんかをしているのはきらいです。そんなとき私は、あきれてしまつてしまつて、けんかをするとき話をしなくなつてきびしいので、こんどけんかをしていたら、やめさせて仲よくさせたいです。

私とおばあちゃんは、けんかをしたことがあるけれど、次の日になるとすぐ仲なおりしてしまうので、私は一人が、なかなか仲なおりしないのは、へんだなと思いました。

おじいちゃんのときも、すぐ仲なおりをしてもらいたいです。そして、二人で仲よく長生きしてもらいたいです。

おじいちゃんのときも、すぐ仲なおりをしてもらいたいです。そして、二人で仲よく長生きしてもらいたいです。

わたしのおばあちゃんは、「あんぱんまん」みたないです。

だつて、わらうと、ほつべがふくらんで、やきたての、ほやほやのあんぱんみたいだからです。

わたしのおばあちゃんは、とてもやさしいです。

おこずかいをくれたり、おかしやアイスクリームをかつてくれたりします。それに、ときどき、わたしがおもちゃなどをだしたままにしていると、かたずけたりしてくれます。

わたしが、いつかかぜをひいたときに、おばあちゃんといつしょにバスにのつて、とうまいのびよういんにきました。おいしやさんにみてもらつたあと、おばあちゃんが、「だいじょうぶだつた」といつてくれました。わたしはうれしかつたです。

それから、わたしのおばあちゃんは、はたらきもたずけたりしてくれます。

おばあちゃん ごくろうさま



大琴小2年・木島未幸さん

のです。あさ、四じにおきて、田んぼとか畑ではたらいています。

それに、あさ、ひる、ばんと、いもうとのさおりのめんどうをみてくれます。

そうじやせんたくや、しょつきあらいや、テープルふきをがんばつてくれます。

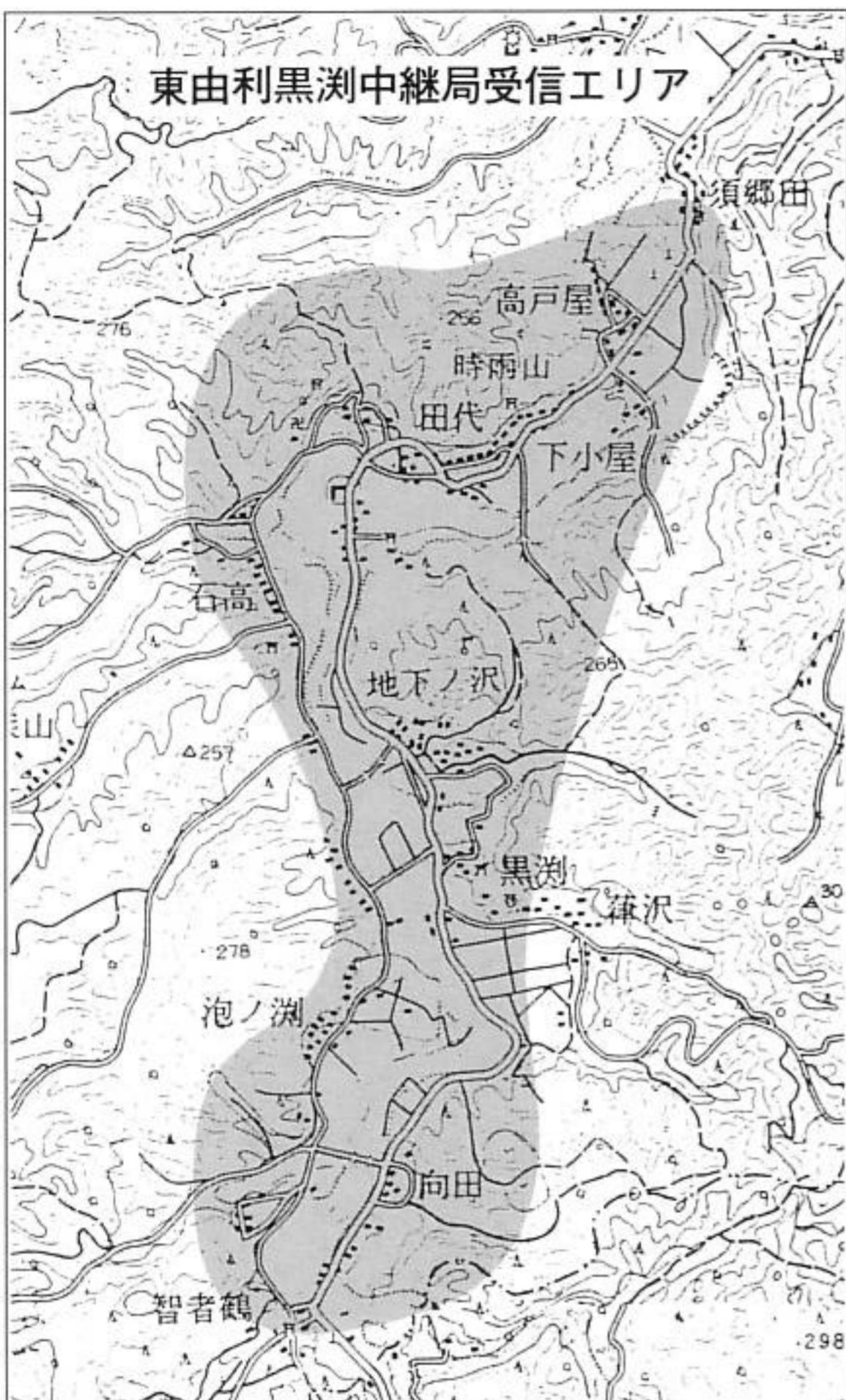
わたしは、どうもあります、といいたいです。

わたしも、おばあちゃんにまけないよう、べんきょうをがんばつたり、さおりのめんどうをみてあげたいです。

だから、おばあちゃんも体に気をつけて、これからもがんばつてくれください。

いつまでも 長生きしてね

黒渕地区のテレビ難視聴を解消



東由利黒渕中継局と蘿沢地区テレビジョン共同受信施設が完成

黒渕地区の難視聴を解消するため、ABS秋田放送とAKT秋田テレビが共同で建設を進めている「東由利黒渕中継局」がこのほど田代字明通一二番地に完成し、六月十三日から開局しました。

同中継局は、秋田市・大森山送信所の電波を東由利中継局（上里）を経由して受信、各家庭テレビに、ABS五八チャンネル、AKT六〇チャンネルで

送信しています。出力は1ワットで、停電時でも八時間の放送が可能なバッテリーを設置しています。この開局によって、黒渕、田代地区の二百六世帯の難視聴が解消されました。

なお、この開局でも難視聴となる蘿沢地区の十五世帯については、同事業と関連し「蘿沢地区テレビジョン共同受信施設」を建設、難視聴を解消しました。



完成した東由利黒渕中継局

記入していただいた内容を、他に漏らしたり、統計以外の目的に使用することは法律で固く禁じられています。どうぞ安心して、ありのままを正確にご記入ください。調査票は後日、調査員が集めにうかがいます。

長期滞在している方、生まればかりの赤ちゃんも含まれます。また、アパートなどに一人暮らしの方、下宿している方は、未成年でも学生でも、世帯主としてご記入ください。

国勢調査にご協力を願います



調査の結果は、国や都道府県・市区町村が、これから行政を考えてい

く大切な資料となり、わざまな分野で生かされていきます。つまり、あなたがご記入くださった答が国民全体の貴重な財産となり、また、より快適で住みよい日本、安心できる未来を築くための道となるのです。皆さんのご理解、ご協力をお願

十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。この調査は、大正九年から五年ごとに行われ、今回は十五回目。日本に住んでいるすべての方が対象となり、人に及ぶと見込まれています。もちろんあなたも、あなたのご家族も対象です。

▼簡単です、安心です、調査内容 調査は、まず、九月下旬に調査員がお宅におうかがいし、世帯ごとに調査票を配布します。

調査内容は全部で二十二項目。ご家族全員の氏名、出生の年月、就業状況などです。旅行などで一時留守にしている方、長期間滞在している方、生まればかりの赤ちゃんも含まれます。また、アパートなどに一人暮らしの方、下宿している方は、未成年でも学生でも、世帯主としてご記入ください。

国勢調査は、法律に基づいて国が行う調査です。調査の目的は、わが国の人口を正確に把握するほか、急ピッチで進行する高齢化社会や国際化社会、人口移動の実態、母子家庭、父子家庭、高齢者世帯の把握、住宅事業の把握など、日本の現在の姿を正確に知ることができます。

▼暮らしに生かされます、調査結果



石川嘉明氏略歴

1949年秋田魁新報社入社、文化部、社会部記者として活躍、秋田放送理事報道局長、制作局長、営業局長、解説委員長を経て1983年退社、フリージャーナリストとして現在テレビ、ラジオ、著作、講演など評論活動に活躍中。

◆「陸の孤島論」は後回しにして、私は東由利町の「熱意」が「秋田信英」を射止めたと思ってる

◆それがどうして東由利町に、逆転誘致となつたんですか。
◆そこなんですよ。畠山町長は負しようと開き直つたんですね。
◆東由利町の熱意を知つてもらうしかないと考えたんですね。まさに「政治力と足の勝負」です。その結果、「足」が「政治力」を越えたんです。私はそこに、政治家の極意を見るんです。貴方、そう

◆（アナウンサー）町の活性化と言いますと、必ずと言つてよいほど「イベント」が出て来ます。「イベント」大いに結構ですが、秋田の場合「イベント」だけでもいるものかどうか。少々気になつてゐるんですよ。

◆（石川嘉明）「日本列島イベン

ント列島」ですからね。「イベント」は「イベント」で活性化に欠かせないものだと思いますが、「イベント」だけではどうでしようか。やはり気になるよね。

◆東由利町の畠山亮二郎町長など

は「イベントだけでは駄目だ」と

はつきり言つていますね。

夫婦や親子が別れて暮らすよう

な「出稼ぎ」は無くさなければな

くして来ます。これもまた道理な

んでですね。

◆それで何をやつたんですか。

◆企業誘致です。以前の東由利

も一生懸命ですよね。

◆（秋田信英）これはもう熾烈な戦争

ですよ。県をはじめ、日本列島企

業誘致列島ですからね。

◆「秋田信英」にも、いくつか

の市町村のラブコールがあつたん

ですか。

◆ラブコールと言つたものでは

ないですよ。幾つかの町村で熱い

ラブコールをおくつていたんです。

◆それがどうして東由利町に、

逆転誘致となつたんですか。

◆そこなんですよ。畠山町長は

負しようと開き直つたんですね。

そして、勝負を挑んだんですよ。

◆それがどうして東由利町に、

逆転誘致となつたんですか。

◆そこなんですよ。畠山町長は

負しようと開き直つたんですね。

◆東由利町の熱意を知つてもらう

しかないと考えたんですね。まさ

かに」と考へたんですね。ま

た人が一回行くなら、俺は一回行く。

◆東由利町の熱意を知つてもらう

しかないと考へたんですね。ま

た人が一回行くなら、俺は一回行く。



畠山 鋼さん(22歳)
蔵・自営業

四月に郷里に帰ってきました。はじめから、長男として家業を継ぐことを前提に県外に出たのですが、やはり出させてもらつてほんとによかったと思つています。

同じ商売をするにも、外に出て他人様の飯^{めし}を食べたことがあると無いとでは、世の中の見方が全く違つたような気がします。

七年間家を出て、両親には心配をかけてきましたが、これからはこの地にしつかり腰を落つけ、地域の人たちとも手を取り合つて、住み良いマチづくりに、少しでも役立つていただきたいと思います。

次は小松淳さん(宇戸坂・22歳)へ、リレーします。

た。勝つてやるぞと、そのとき思つた。

八塩対上浜の試合が始まつた。

八塩小が先攻で始まつた。

上浜のピッチャーは速かつた。

八塩は、なりみつ君や、りょうじ

君が打つてくれたけど、ほかの人

は打てなかつた。

八塩は、エラーが続いて、十一

点もとられた。

打つては、八塩も、四点とつた

けれど、けつきよくは負けてしまつた。

でも、よくがんばつたと思いま

す。このくやしさを、新人戦と、

七月の三校での試合で、ぶつけた

いと思います。

自分も大都会の片隅で生活してみて、はじめて世の中の甘さ、辛さを味わうことが出来ました。

これから家業を継ぎ商売をしていきますが、これまでの経験を生かし、『他人様の飯』が、『ムダ飯』にならないよう努力していく

保健婦の快適タイム

「ビタミンC」取扱法

東由利の文芸

ゆりかご句会(六月会から)

臨月の牛の巨体に薄暑来る

小野貞子(藏新田)

◆風湧いて女身匂える薄暑かな

小松メサ(下小路)

◆逢うたびに好きとはいはずなぬくじり 小笠原亮子(藏新田)

◆風筋の大樹に想う薄暑かな

菊地常作(湯出野)

◆道するべつけて通りぬなめくじり 小笠原トミ(藏新田)

◆薄暑駅椅子に少女の足長く遠藤モトミ(新処)

◆なめくじに一抹の塩恐れけり 小松慶次郎(高戸屋)

◆なめくじの貼りつく裏の古ほど木 鈴木徳藏(沼)

◆スリッパを替えて厨の妻薄暑

高橋ヒデ子(横渡)

◆草野球薄暑の朝にラインひく

佐藤正義(湯出野)

◆舗道往く婦に薄暑を知られけり 阿部義直(沼)

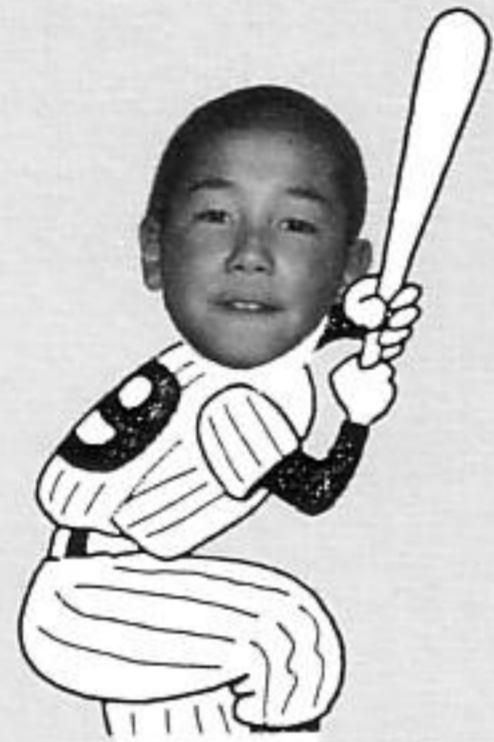
◆瘦せゆくや薄暑日長の街を退け隣田と競つて水張る薄暑かな

遠藤トミ子(小倉)

◆声高く新緑沸す朝野球

阿部澄子(藏)

◆吾が家を持たず生まれてナメクジリ 小松徳藏(湯出野)



野球大会

今日は、野球大会だ。
ぼくは選手なので早めに学校に

きた。

ユニホームをもらつた二十人の

人たちは、たくまくんのお父さん

からお守りをもらつた。

車に乗りこんで、さあ、出発だ。

球場に近づくにつれ、ぼくは、き

んちようしてきた。

水林球場で開会式をやつた。

いろんなチームがきた。

見ているだけで、強そうなチー

ムもいた。

開会式が終わると、ぼくらは南

中グラウンドに行つた。ここで試

合をやるんだと、ぼくは自分に気

合いを入れた。

練習していると上浜小学校が来

ぎちびつこ
作文編



むかしむかし、なん日もなん日
も日照りがつづいて田んぼの水も
かれ、大きな地割れができるほど
の水不足の年だつたけど。

小倉の人たちは、毎日集まつて
空にむかい雨ごいをしたが雨の降
りそうなけはいはなかつたけど。

ある朝、村人たちが高村の手前
の滝つぼ近くに集まつたところ、
これまで見かけたことのない大き
な石が、道端に座りこんだように
あつたけどよ。村人たちは、不思

ふるさとの昔ばなし

4

雨ごい不動さま

語り・遠藤猪一郎さん（小倉）

文と絵・石渡力造



「そういえばほんとだ、これは
きっとあんまり暑いので不動さま
も滝つぼで水浴びしたくて俺たち

教師のつぶやき

せんせい登場



ひとりごと

八塩小学校・佐々木善雄先生

昭和二十五年、私が本荘中学二年のとき当時の下郷中学校とバスケットボールの都市大会で対戦し大敗した。翌年、決勝戦で再び対戦し、前年度の雪辱を果した。そのとき下郷中のキヤブテンが確かに小野茂造（或いは名前の字がちがつているかも）君だつたと思う。彼とはその後、本荘高校で再会し一緒にバスケット部に入ったが、彼も私も途中でやめてしまった。彼は警視庁に就職したと聞いたが、今はどうしているだろうか。私は教師となり、郡市内の幾つかの学校に奉職したが、昭和四十九年東

由利中学校に転任しバスケット部の指導にかかることになった。まだ若かったし、いい成績をと頑張つたが、決勝まで勝ち進むことができないまま転出してしまった。そして今年、思いがけないことにはまた東由利町にお世話をなつた。周囲からは八塩小のバスケットを何とか強くしてほしいと激励の言葉がよせられる。出来ることならと思うのだが、体力と気力が以前のようではない。幸い若い先生方が張り切っている。そのエネルギーによつかりながら何かいい手はないかと思いつめてみたりする。

昼間の暑さから解放されて、高原のような涼風の中での観戦、ナイターは、夏の夜の風物詩です。俳句の夏の季語にもなっています。ところで、ナイターという言葉は、英語ではありません。英語のナイト・ゲームからきた、いわば和製英語です。

日本で初めてプロ野球の夜間試合が行われたのは、昭和二十三年八月十七日の巨人一中日戦です。当时、ある新聞社が、夜間試合をナイターとして使いだしたのが、この言葉の始まりといわれています。もちろん、外国では使っています。もちろん、外国では使っています。しかし、日本でも通称ナイターとはいっていますが、正式な書類などには、ナイト・ゲームとしているそうです。

ナイター



「大氣印」はお休みします。

ふるやことを相心う

26

埼玉県大宮市佐知川三七〇一二
遠藤正さん（47歳・十二の前出身）

時代が変つても変らないもの



の励みとして頑張つてきました。上京の頃と比べ、今の経済力は一八〇度違い、当時は食べ物、話方など合わず苦労したものです。しかし、現在は田舎も都会も、どこの家庭にも家電品が揃い、何を買つてもそれほど喜びを感じない、当たり前の中になつてしまいまして。今でも変らないものは、自然と、故郷の人々の人情味ある暖かい気持ちではないでしょうか。

世の中は、リゾートマンションやセカンドハウスを求める時代になつております。私なども、生まれ育つたふるさとにセカンドハウスでも作り、夏期分、老後はのんびりと過ごしたいものです。

来年のお盆には、「東京東由利会」の帰省バスの案もあり、楽し

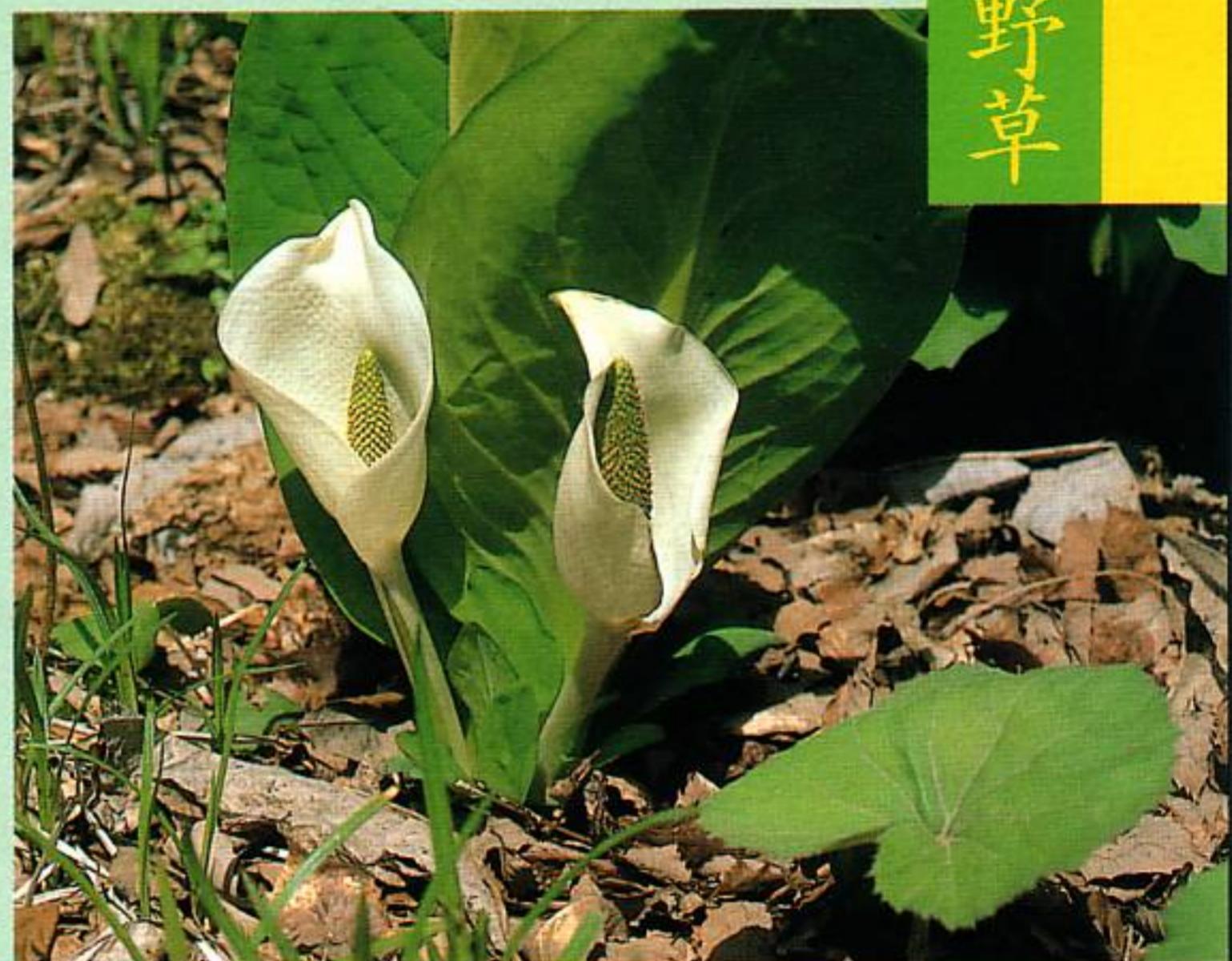
郷土の野草

64

ミズバショウ

(サトイモ科)

文・写真 小松忠正



7月 (5/1~5/31)

町のミニ統計

- 人口 () は前月比
- ・男 2,853人(△6)
- ・女 2,998人(△3)
- ・計 5,851人(△9)
- 世帯数 1,425戸(△4)

() は1月からの累計

- 出生4人(24)
- 死亡5人(24)
- 転入4人(32)
- 転出14人(69)

- 火災出動……1件(2)
- 救急出動……6件(41)
- 交通事故……0件(3)
- ・死者……0人(0)
- ・傷者……0人(4)
- 飲酒運転……0人(1)
- 酒気帯び……0人(1)

中部地方以北の高冷な湿地や沼などの岸辺に主に群生する草で、本町にも各所に群生地があります。

早春、雪解けを待ちかねたように芽を出し、白い花(これは本当の花ではなく苞といいます)を開きます。この苞の中に本当の花があります。

色の棒状に集まつて咲きます。根

は太く深く簡単には掘り取ることはできません。

白い苞がしおれると緑色の葉が伸び一寸以上にもなります。ミズ辺に咲くバショウのような草

- ごめい福をお祈りいたします
 - ご結婚おめでとう
 - お誕生おめでとう
- | |
|--|
| 5/16 小松 謙太(けんた) 聖子(セイコ) 仁男(ニンボ) 大台 |
| 5/20 森川 由高(ヨウコ) 横小路(ヨウコル) |
| 5/20 山田 美緒子(ミオ子) 秋田市 |
| 5/28 高橋 ナツノ(ナツノ) 久保(クボ) |
| 5/29 遠藤 藤吉(タケシ) 五海(ゴイ) 京子(キヨコ) 養父(ヨウブ) |
| 5/30 畠山 金次郎(キンジ郎) (73・ミツノ・夫) 寺田(テラダ) |
| 6/8 遠藤 キン(76・盛藏・妻) 祝澤(スザン) |

戸籍だより

(5/21~6/20届出・敬称略)

7町民カレンダー

青少年を非行から守る
全国強調月間7/1~31

- 1・町消防伝達講習会(9時~台山グラウンド)
- 2~18・レントゲン及び基本検診(日程などは別途通知)
- 3・町畜産共進会(9時~畜産広場)

ふるさと交流
今年も8月15日に開催

- 6・ことぶき大学(10時~朋楽荘)
- 15・川のクリーンアップ(予定)
- 17・斎場竣工式(11時~有鄰館)
- 18~8/11・胃検診(申込者に別途通知)
- 22・町消防訓練大会(9時~台山グラウンド)

第2、第4土曜日は役場が休みです

善意

町社会福祉協議会に横山敏雄さん(智者鶴)から金一封、東北電力(株)東由利サービスセンターからバザー収益金二万二千四百七十五円が届けられました。また、長谷山誠明さん(下通)から縁組世話人報奨金として町から交付を受けた三万円が届けられました。

マイスケッチ

八塩の桜

石綿 国雄さん(大琴)



今年は天候に恵まれて、町内の吉野桜はどこもきれいでしたが、八塩いこいの森の、残雪のある八塩山をバックにした満開の「そめいよしの」は最高でした。

編集室から

あることなどが評価されています。また、立派な球場ができ、従来のグラウンドが利用されなくなるのではないかと懸念する声もありました。特に横渡グラウンドはこれまで利用率が低く、年々荒れてきていました。待望の野球場がオープンし、今年は社会人野球大会に町の若人たちが“フリーパー”しそうです。